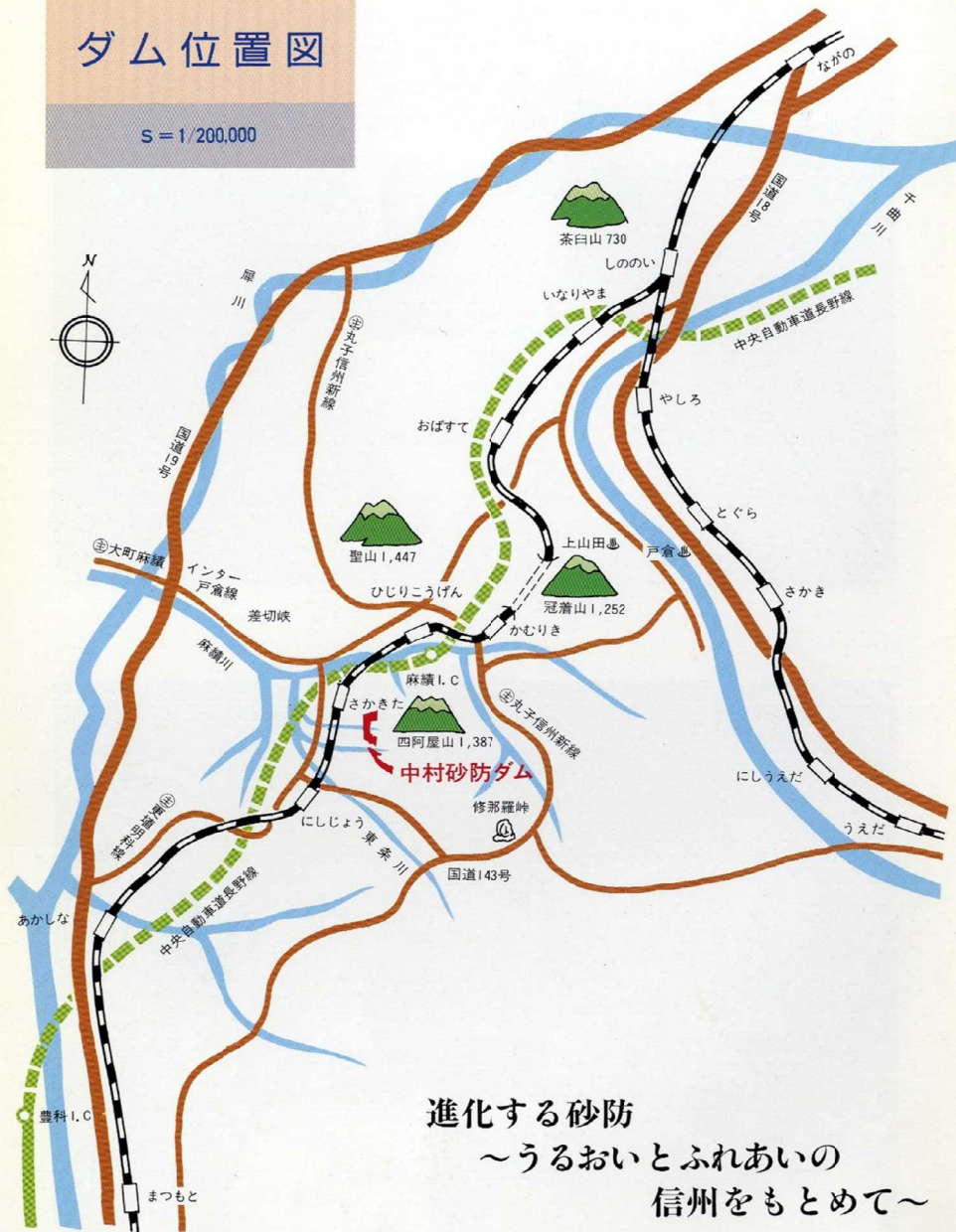


ダム位置図

S=1/200,000



進化する砂防
 ~うるおいとふれあいの
 信州をもとめて~

中村砂防ダム



1990年

長野県犀川砂防事務所
 坂 北 村

ダムの諸元

1. 河川名 信濃川水系犀川支麻績川支東条川小支中村沢
2. ダムの位置 長野県東筑摩郡坂北村字中村
3. ダム計画の諸元

流域面積	1.4km ²	最大洪水量	22.2m ³ /s
最大時間雨量	59.5mm/hr	現況河床勾配	1/8.3
流出係数	0.8	計画堆砂量	47,400m ³
土砂混入率	20%	有効貯水量	26,300m ³
比流量	15.9m ³ /s/km ²	湛水面積	4,800m ²

4. ダムの概要

- (1) 型式 コンクリート重力式 (法率 1:0.2、1:0.74)
- (2) 主要部寸法

各部	工種		側壁水叩部		摘要
	本ダム	副ダム	側壁	水叩	
堤長	96.0 m	36.0 m	22.04 m	20.39 m	
堤高	18.0 m	6.0 m	6.7 m	1.4 m	
天端巾	3.0 m	2.0 m	0.5 m	3.4~9.6 m	
堤底巾	19.92 m	5.78 m	2.51 m	2.0~8.2 m	
立積	11,867.3 m ³	638.3 m ³	434.1 m ³	163.3 m ³	ΣV = 13,103 m ³

5. 事業費 482,000千円

6. 事業効果

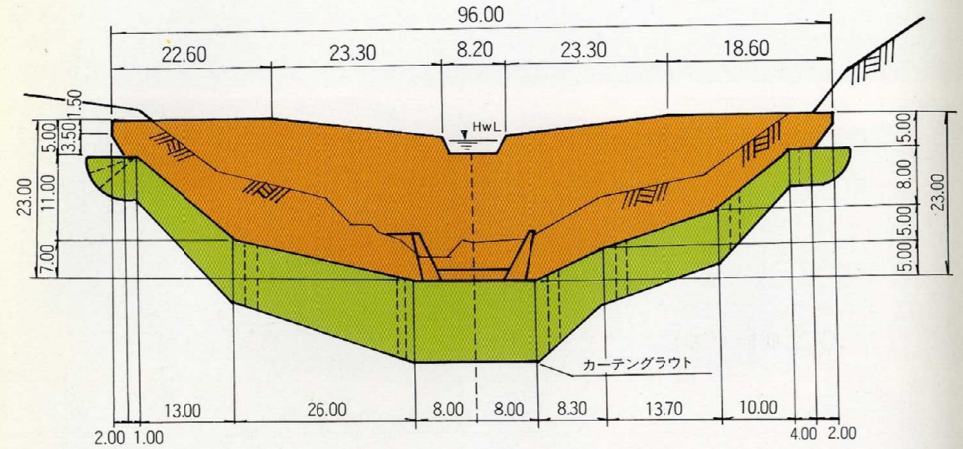
耕地安定	かんがい面積	人家	道路	橋梁
25.0ha	50.0ha	45.0戸	2500 m	5

7. 施行期間

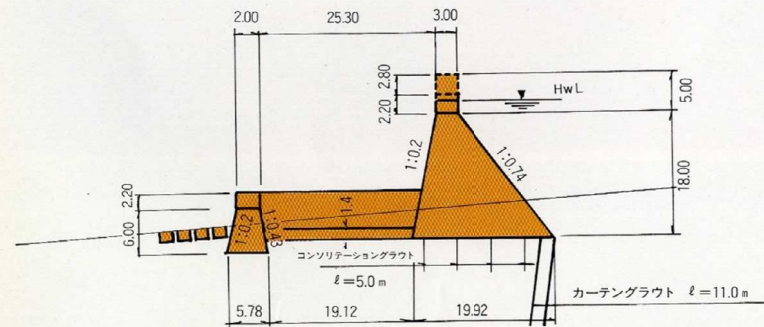
調査 昭和56年～昭和61年 建設 昭和61年～平成元年

ダム計画図

正面図



側面図



中村砂防ダム概要

中村沢は坂北村東端の四阿屋山（標高1387m）に源を発し、一級河川東条川に合流する延長3kmの急流荒廃河川である。流域は急峻のうえ地質は第三紀層にてきわめて脆弱で、過去において幾たびか土石流による被害を与えている。特に昭和34年には多量の土石流により下流の人家、耕地、道路等に多大な被害が発生した。このため本川における流出土砂防止機能を大巾に増進し、下流域の人命財産を守るため、大型砂防ダムを築造したものである。

当ダムの完成は、地域住民が長年にわたり熱望してきたものであり、治山治水での効果による民生の安定に寄与するところ大であるが、その他副次的に堆砂進行までの間貯水利用による下流既得用水の補給も併せて行われるものである。



当ダムより下流0.5kmにある瀧澤山碩水寺(本尊県宝阿弥陀如来)曹洞宗の古刹本尊阿弥陀如来像1244年で県宝に。又、県自然環境保全地域にも指定。



貯水池より北アルプスを望む



施工中 昭和63年8月